

保谷小教育目標
すすんで学ぶ子
助け合う子
元気な子



保小だより

NO. 478・3月号 西東京市立保谷小学校 令和4年3月1日

保谷小ホームページ <http://www.nishitokyo.ed.jp/e-houya/>

開校147年地域に密着した保谷小学校、
ご協力・ご理解をありがとうございました

校長 野崎 信行

1月下旬から始まった3週間のオンライン授業にご理解ご協力をいただきありがとうございました。教科書を使っての授業だけでなく、図工では工作、体育ではリズムに乗った運動、楽しい朝の会など授業内容がより充実してきました。また、冬季オリンピックも始まり、午後はテレビによるオリンピック観戦もされた家庭も多いと思います。日本人の活躍に目を見張ります。9月の学校だよりでも書きましたが、スノーボードでも順位に関わらず、失敗しても難しい技に挑戦した日本の選手に多くの他の選手がたたえる姿を見て再び感動をしました。学校教育でも上手に発表できない、上手に跳び箱が跳べない、リコーダーで最後まで演奏できなくても、あきらめずがんばっている姿に温かく応援する子どもたちを育てていく学校にしていきたいと考えます。

さて、ここ数年、大きな地震、台風や線状降水帯による大雨、大雪による大きな被害が毎年日本のどこかで発生して報道されています。2年前は関東地方に勢力の強い台風が通過し、東京でも多摩川等が氾濫して災害が発生しました。この台風の通過に伴い、本校も避難所を立ち上げました。私が学校で仕事をするようになってから初めてのことです。子どもは月1回の避難訓練をしているので、東日本大震災の時もいつもと同じように校庭に避難することはできました。しかし、避難所を立ち上げる西東京市役所の職員や本校避難所運営協議会の方々は実際に立ち上げた経験がなく、ご苦労されていました。その後地域住民の方は避難に来られ、台風が通過して安全になるまで運営をしていただきました。西東京市で避難所を開設するような災害がまたいつ起きるかわかりません。そのことを鑑み、来年度は1年から6年まで防災学習を重視して、専門家による授業を計画し、保護者の方にも参観していただき防災教育を進めていく予定です。災害が起きてもみんなで助け合える防災に強い保谷地区になればと考えています。

また、今年度も体育大会の運営にたくさんの保護者の方々にお手伝いをいただきました。土曜授業公開日の保護者学校整備ボランティアでは、話をしながら楽しく階段や1階廊下の壁の汚れや埃をきれいに拭いたり、花壇に球根を植えていただいたり、飼育小屋の整備をしていただきました。飼育小屋にPTAより寄贈していただく2羽のウサギを飼います。現4年生は5年生の1学期まで飼育し、2学期からは新4年生に飼育が引き継がれます。保護者の方にはご協力をいただくことがあるかと思えます。よろしく願いいたします。

最後に今年度は3月24日終了式で修了証書を493名に渡します。翌日25日に挙行する卒業式では、72名の卒業生に卒業証書を手渡します。明治7年開校以来、卒業生は13271名となります。本校の歴史の重みを感じます。コロナ禍が続く中でも、地域・保護者の皆様から深いご理解と多大なご支援をいただき、ありがとうございました。

研究発表会について

保谷小学校では、令和2・3年度の2年間、西東京市の研究奨励指定を受け、国語科の説明的な文章を中心に授業改善に取り組んできました。2年目の今年度、研究主題は「**根拠を明確にして考え、表現する児童の資質・能力の育成～説明的な文章において対話を活性化させる指導の工夫～**」です。2月10日（木）には、市内の学校に向けてオンラインで研究発表を行いました。

研究主題

**根拠を明確にして考え、
表現する児童の資質・能力の育成**
～説明的な文章において対話を活性化させる指導の工夫～

目指す児童像

【低学年】

理由を付けて、考えを伝え合う子

【中学年】

理由を明らかにし、考えを比べながら伝え合う子

【高学年】

根拠をもとに、考えを深め合える子

子どもたちは、話し合いながら学習を進めていくことにとっても意欲的です。しかし、自分の考えをもち話すときに、「なぜそう思ったのか。」「どうしてそう考えたのか。」など、理由や根拠を示すことができず「なんとなくそう思った。」や、「自分の考えがもてない。」となる子どもも多くいます。そこで、根拠や理由を明確にして伝える力の育成を目指し、研究に取り組んできました。

子どもたちがすすんで対話したくなり、かつ理由や根拠を明確にしていくための手だては多岐にわたりますが、その一端を紹介します。

研究の手だて

クイズ形式 色分け（視覚化） 動作化
キーワード化 図表化 共有化
順序を変える 選択肢をつくる
置き換える 分類する 隠す

既習事項や自分の経験と「比較する」「関連付ける」

① 順序を変える

説明的な文章の文や段落の順序を変えて提示することで、「何かおかしい。」「意味が通じない。」と子どもたちは自然と考えようとします。また、なぜその順序がいいのか考えることで筆者が文章を書くときの工夫にも気付くことができます。

はじめに、ありの巣から少しはなれた所にひとつまみのさとうをおきました。

これらのかんさつから、ウイルソンは、はたらきありが、地面になにか〜。

次に、この道すじに大きな石をおいて、ありの行く手をさえぎってみました。

これらのかんさつと書いてあるのに、そのあとにまたかんさつがあるのは…



② 選択肢をつくる

説明的な文章の本文中に挙げられている事例の中で、筆者が一番伝えたかったと思うものはどれかについて話し合う活動をします。選択することで、全員が自分の立場を明確にし、考えをもつことができ、一人一人の考えの共通点や差異に気付き、事例のもつ効果や意味を捉えることができます。

マラソン大会の事例

図を使った説明の事例

サッカーチームの事例

想像力のスイッチについて詳しく説明しているのは…だから、…の事例だと思います。



私は、…の事例だと思います。説明が具体的で分かりやすいからです。



2年間の研究を通じて、どの子も話し合いに参加しようとする意欲が高まりました。今までの学習（既習事項）をいかして、説明的な文章を読む力も付いてきました。自分の考えを説明するときにも、本文の言葉や自分の経験と結び付けながら話す意識が高まっています。今後も、ただ会話を活性化させる工夫ではなく、授業のねらいに応じた工夫をすることで、子どもたちのより深い学びにつなげていきます。

行事予定

3月 行事予定表			※3月は予告なしの避難訓練があります。		
日	曜	学校行事	日	曜	学校行事
1	火	保護者会(3,4) SC来校日 時差登校 前半B、後半Aの週	16	水	
2	水	ALT 多摩六都科学館出張学習(プログラミング) (4) 1~4校時【体育館】	17	木	
3	木	4時間授業 (1,2) 5時間授業 (3~6)	18	金	5時間授業
4	金	がん教育(6) 4時間授業 (1~3) 5時間授業 (4~6)	19	土	
5	土		20	日	
6	日		21	月	春分の日
7	月	全校朝会 5時間授業(1~5年) 卒業を祝う会(6) SC来校日 時差登校 前半A、後半Bの週	22	火	時差登校 前半A、後半Bの週
8	火	安全指導 色覚検査該当(1) 5時間授業	23	水	給食(終) 卒業式予行練習
9	水	集会 SC来校日	24	木	修了式 通常時程 4時間授業
10	木	4時間授業 (1,2) 5時間授業 (3~6) ALT	25	金	卒業式
11	金	5時間授業	26	土	春季休業日(始)
12	土		27	日	
13	日		28	月	
14	月	全校朝会 クラブ活動⑩(3年見学・体験) お米の学校(5) 3・4校時 時差登校 前半B、後半Aの週	29	火	
15	火	SC来校日	30	水	
			31	木	

※今後コロナウイルス感染拡大防止による予定の変更の可能性があります。

その際にはメール、ホームページをご確認ください。

※通学路について

オザムの前の道路がまだ整備されていないため、1番線、2番線の児童は引き続き東門を利用してください。

卒業に向けて

卒業まであとわずかとなりました。6年間をふり返って、たくさんの漢字の中から、漢字一文字を選びました。好きな漢字？思い出の漢字？元気になれる漢字？いろいろイメージしています。出席番号順に載せています。

1組	休	飛	一	游	羽	話	合	絆	夢
知	光	元	広	楽	侑	夢	夢	光	楽
泳	和	飛	楽	幸	友	優	思	耀	命
友	本	信	莉	美	朱	幸			
2組	笑	誠	六	星	和	勝	幸	球	踊
心	心	友	進	友	友	楽	美	新	福
友	楽	楽	嬉	希	豊	進	命	勇	広
和	幸	笑	光	力	穩	成			